

政府に現金給付迫る

【第 207 臨時国会】(2021 年 12 月 6 日～21 日)

12 月 6 日から始まった臨時国会。立憲民主党は、「子ども給付金全額現金給付可能法案」を作り、政府にクーポンの撤回を迫りました。これは次に示す「一石三鳥」を実現する法案でした。

1 10 万円を現金で一括交付すれば、900 億円以上の予算を節約できる

2 クーポンの用途決定や店との交渉にかかる自治体職員の負担減

3 地域や使い道に限られるクーポンより現金を望む多くの国民の思いに沿う

クーポン撤回を実現！

さらに、12 月 13 日の予算委員会で、長妻昭元厚生労働大臣は政府に対し、クーポンが原則という



政府の 10 万円をクーポンで給付する案に疑問を呈する堤 (右端)

政府方針を撤回するよう迫りました (堤かなめは初の予算委員会で、パネルの掲示をサポートしました)。

その結果、政府は、「現金 10 万円の一括給付」を選択する自治体に理由書を求める方針でしたが、「特定の条件を付けない」と方針を転換するに至りました。

とはいえ、方針撤回が遅れたことで自治体に混乱をもたらし、給付が遅れてしまったことは否めない事実です。国民の暮らしに思いを馳せることができる政権であれば、そもそも「クーポン」という方針は出てこなかったのではないのでしょうか。

野党の役割とは？

column
まほろば

12 月 6 日から始まった臨時国会の会期について、実は、与党は当初 12 日間にしようとしていました。しかし、私たち野党が「十分に審議の時間をとってほしい」と申し入れ、4 日間延長することができました。小さなことかもしれませんが、野党の果たす役割を実感しました。そして、クーポンの撤回に際しても立憲民主党は大きな役割を果たすことができ、堤かなめもその一端を担うことができました。私たち自身が発信の仕方をもっと改善すべきであるのは当然ですが、マスコミの方々にも野党が果たしている役割をもっと報道していただきたいのだと改めて思いました。

「文通費」改革求める！

column
まほろば

12 月 7 日、堤かなめは、立憲民主党「政治改革部会」に出席し、文通費(文書通信交通滞(費)を見直す改正案に賛成しました。このうち、法案は議員立法として衆院に提出されました。この法案の要点は、文通費を①日割り、②国庫返納、③用途については領収書を添付して報告する、の 3 点です。この立憲案に、国民民主党も維新も賛同し一本化されました。しかしながら、与党側が「③用途公開」について難色を示し、12 月 21 日までの臨時国会では改正することができませんでした。残念です。引き続き 3 点セットでの改正をめざします！

KANAME'S TOPICS

「ワーキングプア」の皆さんを支援する法案を提出！

12 月 17 日、立憲民主党と社会民主党は「コロナ困窮労働者給付金法案」を衆院に提出しました。年末に向け、事態の深刻化が危惧されることから、いわゆる「ワーキングプア」の方たちに、1 世帯あたり 10 万円の特別給付を支給する内容です。成立に向け力を尽くします。

たくさんの役割をいただきました！

教育の充実、地産地消など地方創生、防災・減災、子どもへの虐待・DV・性暴力の根絶、ジェンダー平等の推進等々、誠心誠意がんばります！

▷衆議院での所属委員会：内閣委員会、地方創生に関する特別委員会

▷党での役割：政務調査会長補佐、ジェンダー平等推進本部事務局次長

福岡事務所を移転します

2022 年 1 月 17 日より、堤かなめ後援会事務所は以下の住所に移転します。

〒818-0072 筑紫野市二日市中央 2 丁目 7-17-2F
TEL 092(409)0077 / FAX092(409)0088

※電話/FAX 番号は変わりません。

※JR 二日市駅ロータリーの真正面です。駐車場はありませんので近くのコインパーキングをお願いします。

※建物 2 階にあるため、車いすの方等には大変ご迷惑をおかけします。申し訳ございません。こちらから出向きますので、ご用の方はお電話ください。よろしくお願い致します。